



久万高原町立明神小学校
令和8年2月16日 発行

〒791-1204 久万高原町東明神甲 698-1
校長

『明神小学校ホームページ』
<https://myoujin-e.esnet.ed.jp/>



特別号

コミュニティ・スクール導入に向けて



日増しに日が長くなり、少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。2月8日(日)に行われましたクロームブック貸与式や学習発表会には、たくさんの保護者の方々にご参加いただき、ありがとうございました。

さて、「コミュニティ・スクール(以下、コムスク)」という言葉聞いた方はおられますか？

コムスクとは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5の規定に基づく学校運営協議会を置く学校であり、学校運営協議会とは同規定に基づき教育委員会より任命された委員が、一定の権限と責任を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

ん？何やら難しい言葉が並んでいます。簡単に言うと、学校と保護者、地域住民が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで「地域とともにある学校づくり」を目指す仕組みです。

令和6年度現在では、公立学校の58.7%、小・中・義務教育学校の65.3%の学校がコムスクを導入しています。久万高原町では、面河小学校と父二峰小学校がすでにコムスクをスタートさせています。

コムスクを導入した場合のメリットは何でしょうか？

学校にとってのメリット

- ・地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現する。
- ・地域の未来を担う子どもの健やかな成長のために、学校、家庭、地域の役割分担を明確化し、学校が「教育」に集中する環境を整える。
- ・地域の力を生かした教育活動により、子どもの学びが充実する。



地域にとってのメリット

- ・学校を核とした、子育て世代と地域の方々との一層のつながりにより、防犯・防災に強い安心・安全な地域がつくられる。
- ・子育て世代にとって、地域皆で子どもを育ててもらえるという安心感が生まれる。
- ・豊かな人生経験や技能を子どもたちのために生かすことで、生きがいが高められる。



現在、明神小学校でもコムスクの導入に向けた準備を少しずつ進めています。保護者の方々にも機会を見て、ご説明をさせていただきたいと考えております。